

2019~2020

THE ROTARY CLUB  
OF AMAGASAKI EAST

## Weekly Report

尼崎東ロータリークラブ SINCE 1974

会 長 森本吉昭

幹 事 三田恭男

会 報 藤井輝男

会 場 : ホテルヴィスキオ尼崎

例会日 : 水曜日 12:30 ~ 13:30

http://amagasaki-east-rc.com

e-mail amerc@hera.eonet.ne.jp

VOL. 46

本日のプログラム	5 月 27日 (2199回)	次回のプログラム	6 月 3日
「 青少年奉仕月間 」	松本 勝憲 会員	「 」	平野 高太郎 会員

2020年 5月20日(水) 第2198回WEB例会

本日の卓話は越賀会員です。

安定した世の中になるように祈って頂きたいと思っております。

## 1. ソング 省略

## 2. ビジター紹介

なし

## 3. 会長の時間

今回で3度目のウェブ例会です。

政府が発令していた緊急事態宣言が、39県で解除となりましたが、東京、大阪、兵庫など8都道府県では、感染防止の為、引き続き自粛継続中です。

特に人口が多く、人の往来の著しい都市、その周辺地域において、未だ感染リスクが高いとの判断です。今月21日にこれら8都道府県に対して段階的に見直していくとの事ですが、どのような判断になるのでしょうか。感染防止と経済の活性化はどちらも重要であり、難しい判断だと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きく社会的にも多大な変化が出てきています。

個人に焦点を当てれば、外出の自粛、他人との会話の制限など、これまで当たり前に行われたり、交わされたりしていた事が当たり前ではなくなってきています。

今、コロナウイルスは、社会に価値観の転換という大きな影響を与えているのかも知れません。

新たな日常、これからの社会という認識を私達も持たなければならぬのでしょうか。

コロナウイルスの影響が長期化する中でロータリークラブでも感染防止対策と例会運営の継続の両立が必要とされる事から、今、出来る事はウェブ例会で繋がる事くらいでしょうか。1日も早いウイルス感染の終息を願うばかりです。

## 4. 幹事報告

## ① 宝塚武庫川RC・HYOGO ロータリーEクラブ

事務所移転のお知らせ 5月16日より

新住所 〒665-0845

宝塚市栄町1-17-8-2 電話・FAX 0797-87-4343

## ② 細井貴彦氏の入会について

再入会の為 ゲスト出席は1回。WEB例会に参加してもらいゲスト扱いとする。

入会に関しては次年度7月よりとする。(本人承諾済)

## ③ 米山ハイライトNo242号 届いています。

## ④ 尼崎医療施設へフェイスシールドを寄付

2680 地区浅木ガバナーより神谷ガバナー補佐へ依頼があり、尼崎市6カ所のPCR検査実施している医療施設に医師会を通じて寄付をする事になりました。

費用は 2680 地区負担

5月15日に尼崎商工会議所にて贈呈式が行われました。



写真左から

尼崎市医師会東 会長・神谷・尼崎南RC 黒田会長

ROTARY CONNECTS THE WORLD

国際ロータリー会長 マク・ダニエル・マニニ



「 つながりは挨拶から 」

会長 森本吉昭

## 5. 委員会報告

なし

## 6. スピーチ

「 大本山永平寺について 越賀道秀 会員

皆様、コロナウィルスの影響で色々な活動が制限されている中、如何お過ごしでしょうか。ロータリーの定例会も5月いっぱいまではWEB例会での活動のみというこ

とで、早く皆様の元気な顔を拝見したく、この活動自粛の生活が収束しますことを節に願っております。

今回は、私の卓話ということで、福井県にあります大本山永平寺のお話を少しさせていただこうと思っております。当クラブの姉妹クラブの鯖江ロータリークラブがありますが、福井県鯖江市から車で30分程の距離です。鯖江市を訪れたら、是非皆さんにも訪れていただきたいと思っています。

大本山永平寺は、今から約770年前の寛永2年に、曹洞宗開祖道元禪師により開かれた禪の修行道場であります。日本全国に様々なお寺があります。祈祷や供養、などお寺によって様々な役割や特徴がありますが、大本山永平寺は、禪を修行する道場である、ここは、お寺が770年前に開かれてから現在まで、変わることなく続けられてきたことであります。

道元禪師は、12歳の時に仏門に入り、比叡山延暦寺にて修行を行います。その後、中国へ渡り、禪という新しい教えを学び、日本に帰ってまいります。国費を使って中国へ渡ったのですから、都の近くで自分が学んできたものを人々に教えるのが筋、その当時の主流であったのですが、道元禪師は、京都から離れたところにお寺を建てようと思心します。800年前の日本といえば、帝の権力は弱まり、地方の武士豪族が力を持つ戦国時代、世は乱れ、仏教の力も弱まり、僧侶の墮落が目に見えるものがあつたと、まさに旧から革新への変革の時代でありました。このままでは、仏の教えも衰退してしまうとの理由から、何者も権力の影響を受けない、真の僧侶を育成していくために、山奥に道場を開いたのです。

お寺といえば、どなたでも入ってきてお参りくださいと門扉は開かれているものですが、永平寺は違います。山門と呼ばれる門には扉はないんです。物理的には、開かれているのですが、その門の左側には「家庭厳肅 不容陸老従真門入(かていげんしゅく りくろうのしんもんより入をゆる

さず)」-仏の道を極めんとするものは皆家族同然であり、厳肅な場所である。社会的地位あろうが、真に仏の道を求めないものはこの門を潜ってはならない。と書かれた聯が掲げられてあり、右側には「鎖鑰放閑 遮莫善財進一步来(さやくほうかん ぜんざいのいっぽうをすすめきたるに)」-この門には鎖もなければ、門もなく常に開かれている。純粹に仏の教えを学びたいとの気持ちがおありなら、その一步を進めてみなさい。と書かれてある。

私も、永平寺の修行に向かう際は、雪が降りしきる中、この場所に6時間立ち尽くし、問答の末、門をくぐりました。永平寺で修行をするには現在でも、本人の修行をしたいという志しや道心を示さなければ、入れてもらえないんです。道元禪師の真の仏教を伝えていかなければならないという道心により建てられ、その本質を770年守り続けた過去の人々、そこには洗礼された僧侶の息遣いが今も残っています。そこに扉を作らぬとも、個人自身が自覚を持ち、共に行動すればそれに勝る強固な扉はないということですね。皆様と、お会いできる日を心待ちにしております。



2680地区からのお知らせ

### 新型コロナウイルス感染症対策による地区行事等の開催自粛期間延長について 2020/05/15 16:20:12 更新

※2020年5月15日(金)メールにて地区内へ広報済

新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づく緊急事態宣言が延長され地区におきましては、政府ならびに兵庫県の方針を踏まえた上で、以下の通り決定しましたので、お知らせ申し上げます。

#### ① 2019-20年度に関係する地区行事・地区プログラム・地区委員会等

2020年5月18日(月)から「緊急事態宣言ならびに特定警戒指定」が解除されるまで、開催を引き続き自粛とします。この期間に打ち合わせが必要なものについては、オンライン対応としてください。

#### ② 2020-21年度に関係する地区行事・地区プログラム・地区委員会等

ガバナーエレクトが例外と認めた場合を除き、原則として①と同じ対応とします